

第一学年だより

町田市立薬師中学校
第1学年
令和7年7月11日
第15号

福祉体験について

今回の学年だよりは7月4日（金）に行われた福祉体験についての作文をご紹介します。
体験としてはアイマスクと手話、そして最後に「とっつあん」こと戸津亜里紗様からご自身のことや車いすの生活についてのことなど講話をいただきました。

中学生の皆さんはどのように受け止め、どのように感じたのでしょうか。

「福祉体験」

1組 小穴 詩緒莉

今日は福祉体験をして障がいの方に話を聞いたり実際に体験することができました。

目が見えない人の体験をしてとても怖かったし視界が真っ暗でどうしたらいいのか分からなかったけど助けてくれる人がいるだけで、こんなに安心するものなのかと知って、もし困っている人がいたら助けたいと思いました。

障がいがあって普通の人たちとは違う生活をしているけれど全部違う生活をしているのではなくて、お出かけをしたり仕事をしたり生活するのは同じことなのだと知りました。

障がいを持っている人たちは生まれつきの人もいれば生活していく中で障がいが起こってしまった人がいることを知りました。もし困ったことがあれば寄り添ったり手助けなどをしたいなと思いました。

「福祉体験をして」

1組 生徒

まず、アイマスク体験をして思ったことは、目が見えないとこんなにも怖くて不安な気持ちになるのかということです。障害を持っていない僕達は、目から大量の情報を得ているということを知って、白杖を持っている人や盲導犬を連れている人にも、優しく接しようと思いました。

次に、手話サークル町田の皆さんからのお話を聞いて思ったことは、聴覚障害者のためにはたくさんの便利なものがあるんだなということです。振動目覚ましや、補聴器などのアイテムはもちろん、盲導犬は知っていたけど、聴導犬がいるということを知らなかったからびっくりしました。聴覚障害者は目で見てわかりづらいけど、手話や指文字、ジェスチャーを使えば、聴覚障害者にも話せるということがわかりました。



「福祉体験」

2組 生徒

私は、福祉体験を通して色々なことに興味を持ちました。何に興味を持ったかという、まず視覚障害の方についてです。私は、今回アイマスクで見えないのを体験して視覚障害者はどうやって生活をしているのか、何が助けになれるかを知りたいと思いました。目が見えないとどこに何があるのか分からないので、生活のことを知りたいです。もう一つは、聴覚障害の方についてです。聴覚障害の方は耳が聞こえなくコミュニケーションが難しいです。なので、私は手話で会話ができるように手話に興味を持ったのと、手助けしてくれる道具に興味を持ちました。日本で使われている手話の種類には全部で日本手話、日本語対应手話の二種類があります。私はまず、日本手話での挨拶を覚えたいです。そして、手助けの道具にはお知らせランプや振動時計などがあります。どれも私が知っている道具ではないので、調べてみたいと思いました。そして、最後の一つは、車椅子で生活している方々についてです。車椅子に乗っている方で私は高齢の方によく会います。ですが、実際は高齢の方だけでなく事故で負傷した人、病気で動けない人達も車椅子を利用していると知りました。車椅子で移動するとなると、狭い道や階段は登ることができません。そういう場面でどうするのか、今回お話を聞いてよく分かりました。車椅子を運んだり、手話で会話したり、目が見えない人を支える、そんな素敵な人になりたいです。



「福祉体験」

2組 生徒

最後の時間に、戸津亜里紗さんの講演がありました。私が最初に感じ、印象に残っていることは、『戸津さん、絶対に強いな』と思ったことです。今まで自分の障害とどれだけ葛藤してきたかを考えてみればわかると思います。「嫌なことも多かった」というよりも、「嫌なことのほうが多かった」と言ったほうが適当なくらい色々あったと思います。

でもそんな自分にめげずに今日みたいに私達に『伝える』という行動をとってくださっていること自体に関心したし、感謝しかないと強く思いました。自分も人間なので、当たり前のように毎日なにかに悩んだり苦しんだりはあるけど、戸津さんのことを思い出せば元気と勇気は簡単と言っていいほど楽に湧いてくるなと思いました。『自分は何をやっているんだ』と、奮い立たせてくれるような静かな強さが私にエールを送ってくれたような気さえしました。

～来週の予定～

月・日・曜日	予 定
7月 14日(月)	生徒朝会
15日(火)	パワーアップ教室(数学)
16日(水)	道徳地区公開講座・学校公開日 給食終
17日(木)	特別清掃 パワーアップ教室(英語・再登校)
18日(金)	終業式